

## 令和7年度 学力・体力向上プラン

学校名 中央区立常盤小学校

## 1 課題

【4月】令和6年度学力向上プランの検証結果、学校評価の結果等によって明らかになった課題 【10月】令和7年度学習力サポートテスト、体力テストの結果等によって明らかになった課題	
児童・生徒の学力の課題	
国語	<p>【4月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>言葉の学習における連用修飾語の用法、主語と述語の関係についての理解に課題がある。(4年：全国71.5%、校内64.2% 5年：目標58.2%、校内60.0%)</li> <li>6年 文章を書くことに問題がある。(目標53.8%、校内48.8%)</li> <li>物語の内容を読み取ることに課題がある。(目標63.3%、区70.3%、校内66.7%)</li> </ul> <p>【10月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6年 言葉の学習において、敬語について理解し、正しく使うこと、及び、漢字の由来について理解していることに課題がある。(敬語：目標50.0%、全国37.2%、校内29.2% 漢字：目標50.0%、全国41.0%、校内39.6%)</li> <li>6年 文章を書くことに課題がある。(目標60.0%、全国56.6%、校内52.1%)</li> <li>5年 漢字辞典の使い方を理解していない。(目標値70.0%・校内正答率64.7%)</li> <li>5年 書く学習において、相手や目的を意識して伝えたいことが明確になっていない。(目標値65.0%・校内正答率56.9%)</li> </ul>
算数	<p>【4月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5年 いろいろな形の単元における平行四辺形の作図に課題がある。(目標50%、全国50.9%、校内48.8%)</li> <li>4年 小数の相対的な大きさの理解が不十分である。(全国70.3%、校内66.0%)</li> <li>4年 数直線上に示された分数を読み取ることに課題がある。(全国63.7%、校内56.6%)</li> <li>6年 データの活用領域で少し課題がある。(区57.9%、校内57.4%)</li> <li>東京ベーシックドリル問題正答率が各学年とも低い数値になっている。(6年：62.4%、5年：75.6%、4年：62.6%、3年：65.2%、2年：70.1%)</li> </ul> <p>【10月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学年によって苦手な部分が見られる。</li> <li>6年 割合の問題に課題がある。(目標40.0%、全国23.6%、校内16.7%)</li> <li>5年 ひし形の作図の仕方を理解していない。(目標値55.0%・校内正答率49.0%)</li> </ul>
社会	<p>【4月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6年 自動車をつくる工業の問題に課題がある。(目標65.0%、校内58.9%)</li> <li>5年 暮らしを支える水の学習において、ダムの働きや仕組みの理解に課題がある。(全国50.9%、校内48.8%)</li> <li>資料活用や必要な情報を正しく読み取る力や課題解決能力に課題がある。</li> <li>地図にかかっている地図記号や土地の様子から市の様子を読み取ることに課題がある。</li> </ul> <p>【10月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6年 世界の中の国土の大西洋の位置と名称に課題がある。(目標40.0%、全国38.8%、校内27.1%)</li> <li>6年 季節風についての問題に課題がある。(目標60.0%、全国57.6%、校内54.2%)</li> <li>5年 ごみの出し方のルールについて、資料を読み取ることができていない。(目標値80.0%・校内正答率68.6%)</li> <li>5年 水害が起きたときの自衛隊の役割について理解していない。(目標値70.0%・校内正答率56.9%)</li> </ul>
理科	<p>【4月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6年 人のたんじょうの問題に課題がある。(目標82.5%、校内68.6%)</li> <li>5年 ヒトの腕の筋肉の動きの理解(全国36.6%、校内24.4%)、水のすがたの理解(目標30%、校内24.4%)、水の温まり方(全国45%、校内36.6%)に課題がある。</li> <li>4年 1つの植物のからだのつくりから、別の植物のからだのつくりを推測することに課題がある。(全国20.5%、校内9.4%)</li> <li>実験の結果から考えられることを表現することに課題がある。</li> </ul>

	<p>【10月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6年 ヨウ素でんぷん反応についての理解が低い。(目標35.0%、全国34.6%、校内22.9%)</li> <li>・6年 子宮についての理解が低い。(目標60.0%、全国62.2%、校内52.1%)</li> <li>・6年 天気の変化について課題がある。(台風の進み方：目標85.0%、全国82.3%、校内68.8% 近づいたとき：目標75.0%、全国75.4%、校内68.8%)</li> <li>・6年 顕微鏡の使い方が身につけていない。(目標65.0%、全国66.4%、校内54.2%)</li> <li>・6年 水溶液の見分け方に課題がある。(目標55.0%、全国55.5%、校内43.8%)</li> <li>・6年 ふりこのきまりの理解が低い。(振れ幅：目標55.0%、全国55.1%、校内29.2% 周期：目標35.0%、全国33.5%、校内25.0%)</li> <li>・6年 電流のはたらきについて課題がある。(条件：目標65.0%、全国64.7%、校内56.3% 電磁石を強くする方法：目標75.0%、全国74.8%、校内66.7%)</li> <li>・5年 乾電池のつなぎ方と電流の大きさの関係について理解していない。(目標値40.0%・校内正答率29.4%)</li> <li>・5年 星の色や明るさ、位置や見え方について理解していない。(目標値70.0%・校内正答率49.0%)</li> </ul>
英 語	<p>【4月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度の学力サポートテストの結果において、全国平均を上回っている。</li> <li>・「書く力」に課題が見られる。</li> </ul> <p>【10月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度の学力サポートテストの結果において、全国平均を上回っている。</li> <li>・5年 アルファベットの正しい識別と書き写す力</li> <li>・5年 既習表現を自分で判断して適宜使用する力</li> </ul>
体力向上	<p>【4月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度体力調査の結果、6年男子の50m走、女子の上体起こし、ボール投げで全国平均を下回っている。</li> <li>・4、6年は柔軟性に課題がある。</li> <li>・基礎的な体力や持久力が乏しい。</li> </ul> <p>【10月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度体力調査の結果、「筋力」「筋持久力」「柔軟性」に課題がある。(握力、状態起こし、長座体前屈)</li> <li>・5年 協調性の育成</li> </ul>

## 2 年度末までの目標及び指標、具体的な取組

	年度末までの目標及び指標	具体的な取組
国 語	<p>【4月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「令和7年度学習力サポートテスト」の文章を書くことの校内平均正答率が目標値を上回る。</li> <li>・主語と述語の関係や連体修飾語と連用修飾語の違いの学習を文章内で見つけたときに行う。</li> <li>・図書時間を週に1回行い、物語文の読書をする時間を確保する。</li> </ul> <p>【10月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「令和8年度学習力サポートテスト」の文章を書くことの校内平均正答率が目標値を上回るよう、年間指導計画を見直し、文章を書く時間を増やす。</li> <li>・漢字の学習を丁寧に行い、漢字辞典を用いる時間を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連体修飾語と連用修飾語の違いを理解できるように授業の中で具体例を出して指導する。</li> <li>・指示語や接続語に着目させるとともに、キーワードを見つけるなど、文章の内容をしっかりと捉えさせるようにする。</li> <li>・主語と述語の関係に関する内容の資料を配布し、復習ができるようにする。</li> <li>・「文章を書くことが楽しい」と思う児童を育成するために、引き続き文章を書かせる時間を設定し、文章を書くための基本的な力（読み手を考えること、構成の仕方）を系統立てて指導することができるように年間指導計画を立てる。</li> <li>・段落の役割の復習を行い、指定された段落数と長さで文章を書く練習を繰り返し行う。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語の登場人物の心情の捉え方を確認し、文章を読んだ感想を共有する学習を取り入れる。</li> <li>・インターネットで調べるだけでなく、漢字辞典を用いて、そのページに書かれている同音異義語等の部分にも学習で触れることで興味をもたせる。</li> </ul>
算 数	<p>【4月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数学的思考力・活用力を身に付けさせるために授業改善を行い、「令和7年度学習力サポートテスト」では、思考力・判断力・表現力の観点で区の平均正答率を上回る。</li> <li>・前年度までの学習を振り返り、東京ベーシックドリルの問題正答率が80%を上回る。</li> </ul> <p>【10月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「令和8年度学習力サポートテスト」の割合の問題では、校内平均正答率が全国平均を上回るよう、学習問題を生活と結び付けたり、野球などの児童が関心をもつ事柄を用いたりする。</li> <li>・作図の学習では、児童の90%以上ができるよう、習熟度別の中でも一人ずつ確認を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿題やはげみなどの時間を用いて、作図の復習プリントに取り組みさせる。図形に関する単元において、平行四辺形等の図形の特徴を都度確認する。</li> <li>・夏休みに小数や分数に関する内容の課題を提示して復習を促す。</li> <li>・与えられた情報を読み取り、規準量と割合から求めた比較量を比べる学習を取り入れる。また、それが正しいかを判断し、そのわけを説明できるようにする。</li> <li>・算数習熟度委員会を中心に、習熟度別の考え方や発表の仕方を全教員で確認し、それぞれの思考力・判断力・表現力を児童が身に付けられるようにする。</li> <li>・東京ベーシックドリルの診断テストの結果を分析し、個別に指導が必要な児童に繰り返し丁寧に指導を行う。</li> <li>・学年によって苦手分野が異なるため、興味・関心を高めるために生活と結び付けた問題を考える。</li> <li>・どの図形においても定義を覚えさせるだけでなく、作図の仕方を順をおって確認する。</li> </ul>
社 会	<p>【4月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「令和7年度学習力サポートテスト」の思考力・判断力・表現力の観点で区の平均正答率を上回る。</li> <li>・資料を読み取り、自分の考えをワークシートに記入したり、発表したり、児童自身の力で課題解決をしていく。</li> </ul> <p>【10月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「令和8年度学習力サポートテスト」のすべての問題で校内平均正答率が目標値を上回る。</li> <li>・思考力・判断力・表現力を高めるために、引き続き資料の読み取り方を確認し、自分の考えをワークシートに記入したり、発表したり、児童自身の力で課題解決をしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料集や動画などを活用しながら、視覚的に理解できるようにする。</li> <li>・資料を読み取るための視点や、自分の考えをまとめてワークシートに記入し、さらに考察を深めるための必要な手立てを指導する。</li> <li>・資料の活用には、ミライシードを活用し、地図やグラフ、必要な情報を読み取り、資料を活用する機会を多く設定する等、授業改善を行う。</li> <li>・地図帳を用いて土地の様子を考える学習を授業中に行う。</li> </ul>

<p>理科</p>	<p>【4月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事象の本質を捉え、自分の考えを深めることができる。</li> <li>・「令和7年度学習力サポートテスト」で区の平均正答率を上回る。</li> </ul> <p>【10月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「令和8年度学習力サポートテスト」に備え、復習を行い、目標値に近づける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題→予想→実験・観察→結果→考察の授業の流れを全教員が徹底する。</li> <li>・写真や図、模型や映像資料を活用し、視覚的に捉えさせて理解を深めさせる。</li> <li>・学力調査では自然事象に関する項目に苦手意識がある児童が多い。宿泊行事や校外学習の中に、自然を観察する機会を設け、生命や自然に興味をもたせるとともに、理科の学習に生かせるようにする。</li> <li>・考察の視点を提示して、考えがかけられるようにする。</li> <li>・理科の学習に苦手意識が見られる。実験等を通して児童の意欲を高めつつ、前年度の復習を取り入れるなど系統性を考えた授業内容にする。</li> </ul>
<p>英語</p>	<p>【4月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的に英語を活用しようとしている。</li> <li>・文字をなぞったり、書いたりすることができる。</li> <li>・「令和7年度学習力サポートテスト」ですべての領域において区の平均正答率を上回る。</li> </ul> <p>【10月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度の学習力サポートテストの結果において、全国平均を上回っている。</li> <li>・引き続き書く活動を授業内に取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項を活用し、試す場を設定する。</li> <li>・ALTと連携を行い、Quick Timeに音声を聞き取って、2～3文字の単語を書く活動を充実させる。</li> <li>・英語貯金として四線のノートに英単語や英文を書く活動を取り入れる。</li> <li>・引き続き、日常的に話す機会を取り入れ、コミュニケーションスキルの向上を図る。</li> </ul>
<p>体力向上</p>	<p>【4月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体力テストの結果を受け、区の平均以下について検証を行い、指導計画を修正し、体力向上を図る。</li> <li>・思考力、判断力、表現力を育成するために、教科横断的視点から年間指導計画の見直しを行う。</li> <li>・基礎的・基本的な学力の定着を図るための指導計画及び単元構成を行うとともに朝の時間等を有効に活用する。</li> <li>・教員間で互いの授業観察を行い、授業の課題を把握し改善する。</li> <li>・若手教員の授業力が向上するようOJT研修を行う。</li> <li>・考える時間や意見交換の時間を確保し、個の考えを広げたり深めたりする。</li> </ul> <p>【10月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「筋力」「筋持久力」「柔軟性」（握力、状態起こし、長座体前屈）が区の平均以上になるよう、指導計画を見直す。</li> <li>・勝負にこだわるだけでなく、学級や学年で協調性が育成できる指導内容にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備運動や体づくり運動で柔軟性が高められる運動を取り入れる。</li> <li>・マイスクールスポーツや外部講師による授業を年間指導計画に設定し、1年を通して体力向上や基礎的な運動能力の向上ができるようにする。</li> <li>・縄跳びカードやマラソンカードを活用し、継続的に体力向上を図る。</li> <li>・マイスクールスポーツの縄跳びとペースランニングを中心に児童が意欲的に体力向上を図ることができるように、年間指導計画を見直す。</li> <li>・外遊びを推奨し、遊びを通して体力向上を図ることができるように指導を行う。休み時間だけでなく、放課後にも遊ぶ時間を確保する。</li> <li>・年間指導計画の見直しをし、「筋力」「筋持久力」「柔軟性」を高める運動を取り入れる。</li> <li>・低学年からめあてを意識させ、勝敗にこだわらないように指導する。高学年では、学</li> </ul>

		級の仲間と協調できるようにペアやグループで発表させたり、話合わせたりする時間を確保する。
--	--	--

### 個別最適な学びと協働的な学びの充実

取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的・基本的な学力が確実に身に付くように個に応じた課題を設定し、個別指導を充実させる。</li> <li>・個別学習→協同学習→個別学習のスタイルを確立するために、積極的に授業の指導計画に取り入れる。</li> <li>・国際科の探究活動を継続させる。</li> </ul>
----	--

### 探究的な学びの充実

取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の終わり、単元の終わりでは、学習の振り返りを確実にし、学習内容の系統性や繋がりを重視した授業計画を行う。</li> <li>・思考力・判断力・表現力を育成するために、各教科の特質をふまえた指導の工夫と、教科横断的視点から相互の関連付けを図り、指導体制を整える。</li> <li>・資料を読み取るための視点や自分の考えをまとめてワークシートに記入させ、考察を深めるために必要な手立てを指導する。</li> <li>・OJTによる個別追求の方法を共有、課題設定の仕方の研修</li> </ul>
----	--

### 読解力の育成

取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書室の工事と整備</li> <li>・図書委員による読書に興味をもたせる活動を指導</li> <li>・リプリントによる読み聞かせ（学期に1回）</li> </ul>
----	--